



## 病院機能改善の 取り組み

副院長 菅沼 直樹



この1、2年ほどの間、刈谷病院では集中的な病院機能改善運動に取り組んでいます。これはハード、ソフト両面にわたる包括的なもので、3月下旬には日本医療機能評価機構による訪問審査を受けました。業務内容や組織編成、運営方法など病院活動のあらゆる見直しを行って

いますが、ここでは患者さん始め刈谷病院を利用してくださる方々にも目につきやすい部分をご紹介します。

当院の入院施設はA棟（A1、A2の2病棟）とB棟（B1、B2、B3の3病棟）から成っていますが、今年の1月から3月にかけてA棟の改築・改装を行いました。A棟は平成5年に増改築をしているのですが、それ以前の古い病棟を建て増す形で行われており、平成11年に新築されたB棟と比べるとかなりアメニティーの面で見劣りすることは否めませんでした。今回、和室などの大部屋を廃止し、病棟側にあった保護室を撤去し、患者さん一人あたりの居住空間も広くとれるように工夫しました。ベッドにはすべてカーテンをつけプライバシーにも配慮しています。身障者用トイレや面会室も設置しました。そのために病床数は10床減ってしまいましたが、利用されている方々には喜んでいただけたと思います。

組織面では本年3月から地域医療連携室を立ち上げました。当院はこれまで地域の中での医療展開を重視してきましたが、よりスムーズな関連諸機関の方々との連携がはかれるようになればと思います。

刈谷病院では平成10年6月に「患者さんの権利と責任」を作成し、入院案内の最初のページに載せていました。当時この種の権利擁護方針を掲げている精神科病院はほとんどなく、先駆的な取り組みと評価され、その後多くの病院で同様の宣言が出されるようになりました。今回、内容を全面的に見直すとともに、「医の倫理綱領」「医療従事者の倫理規定」などの倫理規定を新たに作り、「刈谷病院の理念・基本方針」とともに外来待合室や各種パンフレット、ホームページなどに掲示しました。

喫煙対策としては、分煙の徹底、職員の敷地内禁煙の実施、保健所のご協力も得て患者・職員向けの禁煙教育など行ってお

ります。世界的な禁煙運動の広がりから愛煙家の方々は日頃肩身の狭い思いをされていると思いますが、病院という健康向上のための機関であり、ご理解とご協力をお願いいたします。

外来では満足度調査の実施、外来予約制の徹底と待ち時間短縮の試み、呼び出しの番号制の一部導入などを行っております。当院では30分単位で予約をお受けしているため、予約時間から30分以内で診察が始まれば予定通り診察が行われたこととなります。調査の結果、予約時間内診察達成率は81%でした。100%にするのが目標ではありますが、患者さんの病状が悪化したり入院が必要となったりした場合どうしても時間がかかってしまい、その後に予約が入っている方々の診察が大幅に遅れてしまうことがあります。大変ご迷惑をおかけしてしまうのですが、なかなか頭の痛い問題です。

そして今回3号になるこの広報誌「ハーモネット」ですが、これも病院機能改善運動の一環として始めた企画です。この病院をよく知っていただき、上手に利用していただくためにも、ホームページ(<http://www.kariya-hp.or.jp/>)とともども多くの方にご覧いただきたいものです。

外来、各病棟、リハビリ棟には「ご意見箱」が設置してあります。利用者みなさまの率直なご意見は私たちの病院の機能とサービスの向上のために欠かせません。どうぞ積極的に活用し、みなさまの声をお聞かせください。

私たちはこうした取り組みを通して病院活動の組織化、合理化、透明化を進め、よりよい医療を提供するとともに、みなさまにとってわかりやすく利用しやすい病院を目指しています。まだまだ不十分な点、取り組まなければならない課題は山のようにありますが、一步一步確実に成果を上げていきたいと思っています。みなさまのご指導とご協力をお願いいたします。

### 豊かな心、こまやかな関わり、最新の医療

#### 当院の理念

- ① 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- ② 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- ③ 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

#### 当院の基本方針

- ① 病気と治療に対する十分な説明と了解のもとに医療を実践します
- ② 精神科救急に積極的に取り組みます
- ③ 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- ④ 地域生活支援に積極的に取り組みます
- ⑤ 地域の医療機関、行政、福祉施設等との連携に積極的に取り組みます
- ⑥ 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- ⑦ 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます



## 当院外来の現状

昨年待ち時間調査を行ったところ、再来予約患者様の、予約時間から診察までの平均待ち時間は18分、受付から会計終了までの平均時間は52分という結果でした。外来の理想的なあり方の一つに待ち時間の短さがありますが、現実には厳しいと言わざるを得ません。

当院の外来患者数は近年増加の一途となっています。1日平均の外来患者数は、平成元年度が71名であったのに対し平成11年度は135名、平成17年度には193名と、約3倍に増えています。増加自体は、当院が地域の皆様に開かれた存在となっている証ともいえ嬉しいことでもあり、また時代の流れとして心を病む方が増えておられるのかと憂うところでもあります。問題は増加の分当然のこととして外来が混雑してきていることです。

その一方、対応するスタッフの増員は追いつかず、医師が9名から14名(非常勤含む)、外来看護師が3名から4名、事務員が7名から14名にとどまり、薬剤師に至っては3名から2名へと減少すらしています。個々の職員の熱意や工夫によってカバーすべく努めていますが、例えば診察室の数の不足など(10名医師がいても診察室が10もないのです)ハード面の問題も大きく、そうしたひずみがいわば複合的に外来の混雑を激しくしているのが現状です。皆様からもご指摘を受けておりますが、待合スペースや駐車場の狭さも課題となっており、私達としても少しでも快適な外来をと思いながら、問題がある程度自覚できているだけに解決も難しく、悩みながら日々の業務を勤めています。

## 外来診療時間について

診療時間は平日が午前9時から、土曜日は主治医により午前9時からと午後1時からとなっております。

## 予約制について

当院の診療は予約制となっておりますが、予約無く来院される患者様が多くみられ、待ち時間が長くなる等、患者様への支障をきたしています。

予約日以外に診察を希望される患者様は、前日までにご連絡され、診察予約を入れていただきますようお願いいたします。予約のお電話は9:00~17:00となっております。診察日当日の予約はお受けできません。

平成19年6月1日より、予約されずに来院されますと、担当医又は外来診察の最終までお待ちいただくことがあります。

なお、病状により看護師の判断で診察の順番が変わる場合がありますが、患者様のご都合での早め診察のご希望は他の予約患者様に支障をきたすため、対応できませんのでご了承ください。

## 初診について

基本的に、初診は新患として再診とは別枠を設けております。前回受診後3ヶ月間空いた場合も初診扱いですが、当院に主治医在籍なら再初診、不在の場合に新患扱いとなります。初診も予約優先となっており、現在は数日~1週間待ちの場合が多いです。やはり事前に電話での予約をお願いいたします。当日予約されずに来院されますと、新患枠に空きがない限り、改めて予約をお取りいただいて帰宅していただくこととなります。

## 夜間外来について

病状が長期間安定し、仕事などで日中の受診が困難な方については、**水曜夕方5時から7時に夜間外来を行っております。**こちら完全予約制です。詳しくは主治医にご相談ください。



## 時間外・休日夜間の診療について

午後や夜間休日等の受診については止むを得ない場合のみ対応しております。処方方は原則として、次回の主治医の診察日までの数日分しかお出しできませんのでご了承ください。

## 救急について

当院の患者様につきましては、止むを得ない場合のみ救急対応をしています。初診の患者様につきましては、精神科救急医療当番表に基づき、当番病院をご紹介します。

## その他

医療費等経済的な相談や本人以外の家族だけの相談、心理面接(カウンセリング)、自助グループや家族会などの情報提供も行っております。詳しくは外来看護や主治医に気軽にお尋ね下さい。

(外来業務委員会 浅野久木)



# 知っておきたい 精神科 基礎知識 アルコール依存症

vol.2

アルコールは麻薬や覚せい剤などと同じ依存性物質であり、飲酒を続けるうちに精神依存、身体依存が形成され、自分で飲酒をコントロールできない状態となって離脱症状（禁断症状）を認めるようになり、肝硬変をはじめとする様々な身体の病気を併発し多くの方が50代前半で死に至ります。これがアルコール依存症です。

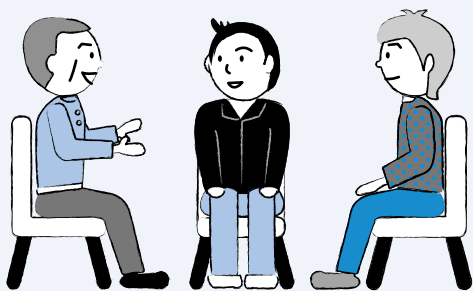
典型的なアルコール依存症例では、20歳前後で飲酒を経験し習慣飲酒（晩酌）するようになって次第に飲酒量が増えていき、さらに月日がたつと休日は朝から飲酒するようになり他の趣味をしなくなって暇な時は酒だけ飲むようになります。この頃に

なると手や身体の震え、大量の寝汗、頻脈、幻覚、不眠、抑うつ、けいれん発作、振戦せん妄（幻覚や興奮をとともなう意識障害）などの離脱症状を経験するようになります。離脱症状は身体依存が形成された証しです。そして末期には正月休みなどの長期休暇中に泥酔して寝込むまで飲み続け、覚めるとまた酔いつぶれるまで飲み、ついには身体を壊して病院に運ばれたりします。

長期間、大量飲酒を続けると様々な身体の病気を併発します。主な病気に、肝障害（脂肪肝・肝炎・肝硬変）、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、糖尿病、膵炎、高血圧、不整脈、心筋症、虚血性心疾患、末梢神経炎、認知症などがあり、特に肝障害はアルコール依存症者の80%にみられます。アルコール治療のために病院を訪れた患者さんのうち10年後に30～40%の人が亡くなっていると報告されています。死因の上位は、肝硬変、心不全、事故死、糖尿病、癌、脳血管障害、自殺です。



アルコール依存症者の家庭では、長年ともに生活してきた家族も知らず知らずのうちに影響を受け、夫婦の役割が変化したり、子供の成長に問題が生じたりします。そのためアルコール依存症は家族を巻き込む「**家族全体の病気**」とされています。



アルコール依存症の本質は飲酒をコントロールする能力を失っているということで、その体質はそのまま一生変わりません。そのため何年断酒していても一杯を口にすると元の大量飲酒状態に戻ってしまいます。適正な飲酒に戻ることはあり得ないのです。アルコール依存症からの回復は、これを認めることから始まります。そして断酒のための努力を死ぬまで続けることが重要です。断酒を続ける場と

して、断酒会やAAという患者さんが自分達で組織している自助グループがあります。長期の断酒に成功している人の90%が過去に自助グループに参加したことがあり70%が現在も参加を続けているという調査結果が出ており、断酒の継続に最も有効であることが裏付けられています。

（医師 廣重知幸）



# カンタン簡単レシピ

vol.2

カロリー控えめ!

～フライパン一つでバランスよく～

野菜を食べよう

## 鶏肉と野菜の塩蒸し焼き

カロリー-250kcal(1人分)



【材料】1人分

- 鶏もも肉…1/2枚
- しいたけ…2枚
- キャベツ…2枚
- 塩…1つまみ
- ねぎ…10cm
- 和風ドレッシング…大さじ1

★これから夏にむけてのさっぱりメニュー。冷や麦と一緒にいかがですか? (栄養士 大石真琴)

鶏肉は良質のたんぱく質源! ダイエット中の方に!

- ①鶏肉に塩をまぶして10分ほどおく。
- ②キャベツはざく切り、ねぎは斜め切り、しいたけはいちように切る。
- ③フライパンに②と水(200ccくらい)を入れ、上に鶏肉をのせふたをし、強火にかける。
- ④水が沸いたら中火にして、15分くらい蒸し焼きにする。(こがさないように)
- ⑤お皿にならべ、和風ドレッシングをかける。

※このレシピは蒸すので肉もやわらかく、歯が弱い高齢の方にもおすすめです。蒸し焼きにした野菜は甘みがあり、おいしく食べる事ができますよ!

**ワンポイント** 鶏肉を、豚肉や白身の魚に変えたり、野菜もレタスや白菜などに変えてもおいしいと思います。ドレッシングのかわりにしょうゆやぼん酢でもいいですね。耐熱皿に食材をのせ、ラップをしてレンジでチン!してもできますよ。

# カリヤ病院物語

作画: Qちゃん

注: このマンガはフィクションです。



6月2日(土)

第3回

## あったかハートまつりを終えて



「今年も晴れてよかった…」そう思いつつ3回目となる、梅雨時のあったかハートまつりですが、大きなトラブルもなく成功できたことに大変嬉しく思っています。精神科病院の敷地内に、小中学生をはじめ、近隣の住民、過去に精神科に抵抗を感じていた人達が、ごく普通に足を運んでくれるという風景が自然に感じてきた気がしました。

まつりを立ち上げる事も大変ですが、継続して行っていく事はそれ以上に大変な事だと思っています。今後とも、病院スタッフ全体の協力と企業ボランティアなど外部の方々の心強いお力添えを集結させて、皆さんが楽しく参加できるまつりを続けていけたらと思いました。

(まつり実行委員 田港朝洋)



### 患者さんの権利

- 人間としての尊厳が認められる権利
- 治療を選択し、自己決定する権利
- 平等に医療を受けられる権利
- 治療スタッフを知る権利
- 十分な説明を受け、知る権利
- 個人情報の秘密が厳守される権利

### 患者さんの責任

- 治療上のルールを守り、治療に参加する責任
- 治療上で必要な情報を提供する責任
- 医療費を支払う責任

編集・発行 /



神経科・精神科

医療法人 成精会

## 刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30

TEL (0566) 21-3511

FAX (0566) 21-3536

http://www.kariya-hp.or.jp

携帯HP http://www.kariya-hp.or.jp/i/



● JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分

● 名鉄三河線刈谷駅南口下車 徒歩10分

### 編集後記

病院広報誌「ハーモネット」も今回で3号を発行することができました。みなさまに私たちの病院を知ってもらいたい、わかりやすく役立つ情報をお届けしたい、との想いをこめてつくりました。最後まで読んでくださった方々、本当にありがとうございます。

2面からの「病院紹介」「知っておきたい精神科基礎知識」「簡単レシピ」「カリヤ病院物語」は今後も連載していく予定ですので、楽しみにしててください。

(広報委員会 古山知恵美)